

「里親の会」のこと (真光寺川つれづれ草2)

真 光寺川里親の会」のことを取り上げてみたいと思います。辞書には里親とは身寄りのない子を預かって育てる親のこととあります。

2000年1月「真光寺清流の会」はスタートし、春になるのを待ちかねて、毎月第2日曜日、清掃作業を開始しました。十数名の会員が開戸親水に集合し、網を片手に下流から上流へゴミを拾っていきました。空き缶、犬の糞を入れたビニール袋、建築廃材、自転車とゴミの種類は多種多様でした。悪戦苦闘の結果、山のようなゴミの山が

築かれましたが、何かすがすがしい達成感を味わうことができました。

私 共にとって予想外だったことは、地元の反響でした。通りすがりに声をかけて下さる方や、中には寄付金を届けて下さる方もあり私共にとり大きな励みになりました。取り分け、朝日新聞・多摩版に「熟年15人、清流復活に奮闘—子供たちの川遊びを夢見て」の見出しで大きく取り上げられてからは、近隣の小・中学校からも問い合わせがあるようになりました。



「清流」を創る

風遊の風と清流
辰濃和男

「暮らしの風」に掲載された水質検査の様子(辰濃さん撮影)

内容や、目指していることを伝えていく必要を感じるようになってきました。

9 月の初旬、思いがけず辰濃さんから電話を頂戴しました。辰濃和男さんは著名なジャーナリストで永年にわたり朝日新聞の「天声人語」で健筆をふるわれました。岩波新書「四国遍路」等著作も多数あります。朝日新聞を定年退職後、著作活動に携わる一方、環境問題にも熱心で同系のエコロジー誌「暮らしの風」誌の主幹も務められていました。取材に伺いたいとのことでした。

9月の第2日曜日単身、カメラを提げてお見え

何時の頃からか、作業後近くのコンビニで思い思いの昼食を買い「会館」でご苦労さん会を開くのが楽しみの一つになってきました。たわいない雑談が主でしたが会のあり方や将来についても語りあわれました。また、時には地元の有力者を招いて、「真光寺川の古い川筋のこと」や「暴れ川であった頃のすさまじい被害のこと」などを伺うことができました。川が地域のかげがえのない風土となっていることがわかってまいりました。そして私共は地域に深く根ざし、具体的な活動の

になりました。当日は残暑の厳しい天候でしたが熱心に取材し、カメラに収め、会員の意向を聞いて下さいました。そして「暮らしの風」2000・12月号に次のように書いて下さいました。

「会の活動によって、ここで生まれ育った人たちと、十数年前、あるいは数十年前にここに来た人たちとの結びつきがうまれつつある。ドイツのメルディゲン地方に「小川の里親制度」という運動があるそうだ。役所に申し込み、家の前の小川の里親になる。里親は、川をきれいにし、岸に木を植える。一地方で起こった(裏面へつづく)

子供が遊べるふるさとの川へ、自然豊かな川の散歩道に、きれいな川にしましょう！

この試みはドイツの各地にひろがっている。清流の会は真光寺川の里親なんだ、と思った。」

この記事を読んで会員は大きな励ましをもらいました。かねて懸案の機関紙発行の話がとんとん拍子に進んでいきました。問題はその配布の対象です。組織化というほどおおげさなものではありませんが、清掃作業に携わる中核メンバーを「真光寺川清流の会・会員」としました。それを支える幅広いシンパの方々が「真光寺川里親の会・会員」です。周辺にお住まいの真光寺川に関心のある方々、遠方にお住まいでも我々の活動に

鶴二小へ出前講座を行う

1月28日、鶴二小から依頼があり、3年生約80名を対象に出前講座を行いました。3年生は地域を知る学習の一環として、この日は真光寺川と清流にする会について学びました。

今回はコロナ感染を避けるため、オンライン授業で別室から説明し、児童は自室で外付けディスプレイを見ながら授業を受けました。

児童からは「真光寺川は氾濫したことがありますか」とか「真光寺川のコイは野生ですか」などたくさんの質問が出されました。深い直線の川に改修され氾

理解のある方々、近在の小・中学校先生方、関連の行政の方々です。配布の対象としました。

2001年5月12日、「真光寺川里親の会通信」第1号が発行されました。取材・原稿作成・発行業務等煩瑣な仕事を引き受けて下さいましたのは、当時の事務局長・高橋日出男さんでした。(会の大黒柱として、会の骨格を作られた方ですが、惜しくも癌で亡くなりました。)

今日も連綿と引き継がれている「真光寺川通信」の源流です。(山口拓郎記)

濫がなくなったこと、コイなど外来種がふえていること、下水道の普及で川の水質がよくなり、川に入って遊べる水質になったことなどをお話しました。



オンラインで学習する児童たち

終わりに川まつりには是非遊びに来て下さいとおさそいしました。(記 黒田健夫)

メダカポスト：お礼

12月～1月は能ヶ谷6丁目岡村様からのご寄付にめだかポストへのご寄付を合算し2,100円でした。

真光寺川を清流にする会の活動に対しお寄せいただいたご厚志に深く感謝いたします。



12月の清掃報告

12月12日は、晴れの天気恵まれ、13名が清掃に参加しました。ゴミは16袋と侵入禁止杭などを回収しました。昨年はコロナ禍で6回の清掃しか出来ませんでした。この日が最後の清掃でしたから念入りに清掃を行いました。川の中ではオイカワが数十匹、肩を寄せ合うように群れて動かずに泳いでいました。カワセミも川端からじつと川の中を見つめているのも見えました。

3月・4月の清掃(クリーン作戦)の予定

☆3月13日(日)、4月10日(日)

なお緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発令中の場合は中止と致します。

☆集合:9:30 下堰親水場

(能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏)

☆持物:軍手。その他ごみ袋、火ばさみや長靴など一部用意があります。

☆解散予定 11:00

真光寺川の川の中と川の周辺のごみを分担して拾います。ぜひご参加下さい。

☆真光寺川を清流にする会 代表:山本隆治

事務局:黒田 TEL/FAX:042-708-4269

☆真光寺川を清流にする会のHP

<http://www.shinkojigawa.com/>

e-mail: kawasemi@shinkojigawa.com